

乳児期の全身掻破と海外生活中的再燃を経て軽い関節症状のみとなった小児アトピーの経過 (13 歳 男児)

症例 ID：001-13-KK4 | 記録日：2016 年 5 月 29 日

1. 診断・治療前経過

生後 1 か月頃から皮膚を強く掻き、顔や体に傷が広がりました。ワセリンの後、ステロイド軟膏を約 5 回使用しました。

乳児期から幼児期にかけて掻破、出血、衣類や寝具の汚れが続き、時折喘息もみられました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	乳児期にステロイド軟膏を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	約 5 回使用しました。
中止時期	乳児期の松本医院受診時です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後 1 か月頃	発症	顔や体を強く掻き、傷が広がりました。
乳児期	治療開始	煎じ薬、消毒、入浴、外用処置を開始しました。
乳幼児期	症状の波	掻破と出血が続き、衣類や寝具が血で汚れる時期がありました。
2010 年	海外転居	ベトナム転居後、強い皮膚症状は一時的に落ち着きました。
2011 年 4 月	再燃	約 1 か月、全身の皮膚が崩れ、強い掻破と出血がみられました。
2012 年 4 月	帰国後	強い症状は減っていきました。
13 歳時	経過後	まれな鼻炎と関節部の軽いかゆみ程度で、日常生活を送っていました。

4. ピーク時期

ピークは、乳幼児期の全身掻破と出血の時期、および 2011 年 4 月に約 1 か月続いた強い再燃期です。

5. 困りごと

- ・衣類や寝具が血で汚れ、毎日の処置が必要でした。
- ・消毒時の痛みで逃げ回るため、家族で対応する必要がありました。
- ・海外生活中に強い再燃を経験しました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。



経過中の皮膚状態の画像記録。



経過中の皮膚状態の画像記録。



経過中の皮膚状態の画像記録。



経過中の皮膚状態の画像記録。



経過中の皮膚状態の画像記録。



経過中の皮膚状態の画像記録。



経過中の皮膚状態の画像記録。



経過中の皮膚状態の画像記録。



経過中の皮膚状態の画像記録。

7. 経過のまとめ

乳幼児期から長く症状の波があり、2011 年には約 1 か月の強い再燃を経験しました。

13 歳時には、まれな鼻炎と関節部の軽いかゆみ程度となり、日常生活への大きな支障はなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。